

第4章 町民の声

第7次振興計画の策定にあたり、広く町民の意見を反映させるため、住民意識調査をはじめ様々な手法による町民意向の把握を行っています。町民が期待するまちづくりの概要を以下に整理します。

1) “まちづくり懇談会”より

令和元年度は町内4会場にて124人の参加。令和2年度は書面開催にて24人1団体の意見。

[まちづくりへの主な意見・提案]

- 雇用の場の確保 ○企業の誘致 ○定住対策 ○少子化対策
- 若者の流出対策 ○空き家対策 ○放射能除染事業 ○防災対策
- デマンド交通の利便性向上 ○学校跡地の有効活用 ○観光立町への対応
- 町民参加のまちづくり ○道の駅友愛の森総合計画の推進
- 町の宣伝・活性化 など

2) “町民意識アンケート調査（令和元年6月実施）”より

町内に住む20歳以上の住民2,000人を無作為抽出。802人の回答を集計。

[那須町の住みやすさ]

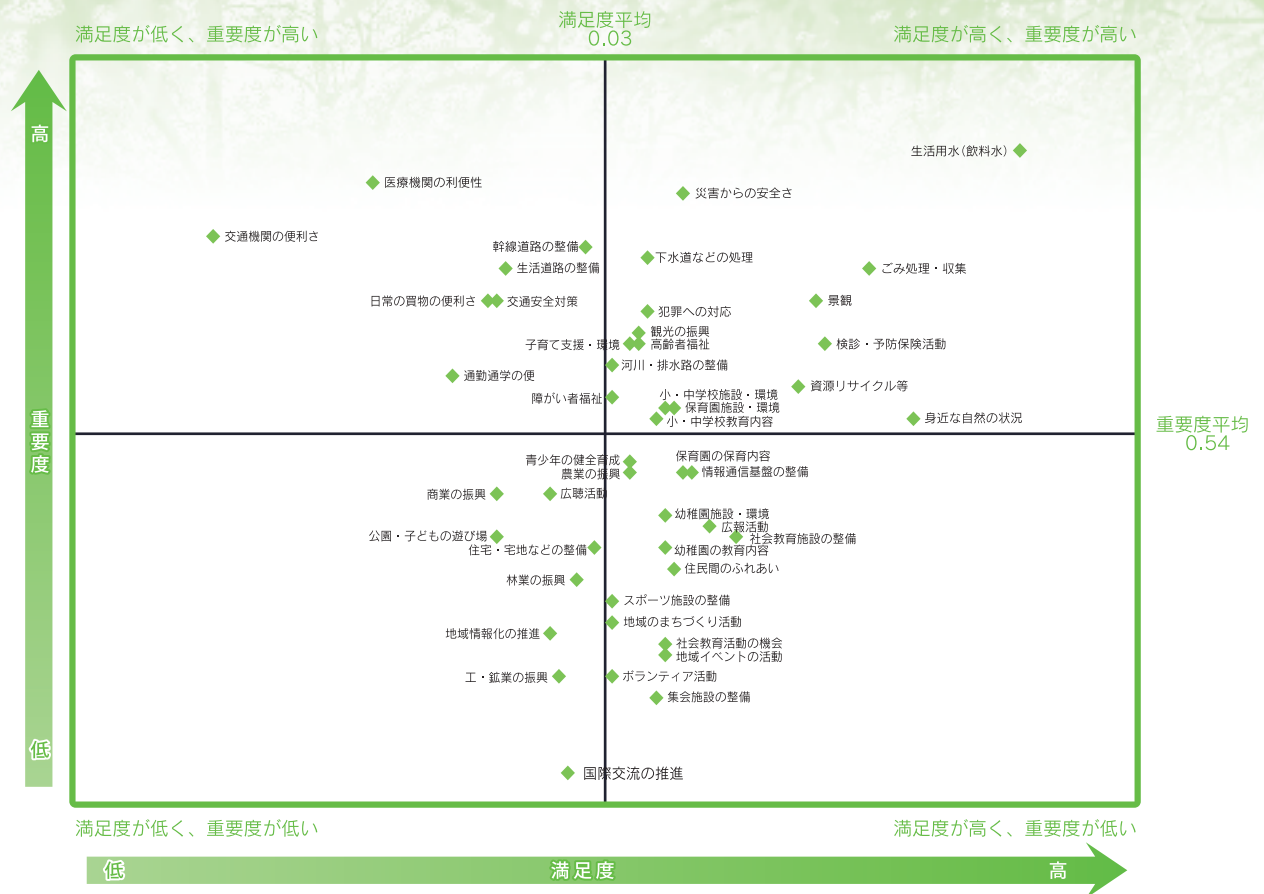
- 約6割が“住みやすい”と回答

[今後の定住意向]

- 約7割が“住み続けたい”と回答
- “住み続けたい”主な理由は“ふるさとを大切に思う気持ち”

[全般的な事業の満足度・重要度]

- 満足度の高い項目
：自然の状況、生活用水、ごみ処理・収集 など
 - 満足度の低い項目
：交通機関の利便性、通勤・通学の便、日常の買い物、医療機関の利用 など
 - 重要度の高い項目
：医療機関の利用、災害からの安全、交通機関の利便性 など
- ※満足度が低く重要度の高い項目（医療機関の利用など）は喫緊の課題



3) “中学生意識調査（令和元年6月実施）”より

町内の中学2年生 182人を対象にアンケート調査実施。172人の回答を集計。

[那須町への愛着度]

○7割以上が那須町に対し愛着

[那須町が好きな理由]

○“雄大な自然”“家族の住む故郷”“安心して暮らせるまち”が上位

[那須町の住みやすさ]

○6割以上が“住みやすいまち”と認識

[那須町への定住意向]

○“那須町へのUターン希望”は約5割、“東京などの都会に住みたい”が約3割

○何年かは町外で暮らしいずれは戻ってきたい理由

： “家族や友人がいるから”が最多

○東京などの都会に住みたい理由

： “都会で暮らしたいから”が最多（前回：“町内には就職する場所がない”）

[那須町で自慢したい・将来に残したいと思うもの]

○“豊かな自然”が約6割で最多

○半数以上が“観光・リゾート地としての環境”“ゆったり暮らせる環境”を支持

[将来の那須町のすがた]

○“豊かな自然を活かしたリゾートのみち”が4割以上で最多

○“緑と清流の保護・保全に力を注ぐ、自然豊かな町”と“生活環境が整備された快適なまち”に高い期待